

臨川小だより

6月号

令和5年5月31日(水)
渋谷区立臨川小学校

6月 水無月へ

校長 河口 尚志

春の暖かさから初夏の陽気へと変わり、汗ばむ季節になりました。

6月は「水無月」です。梅雨入りなのになぜ「水無月」と言うのでしょうか。

この「無」は「の」にあたる連体助詞「な」で、「水の月」という意味のようです。

「水の月」に由来する諸説の中で、田に水を引く時期にあたることや、梅雨の時期にあたることからそう言われています。

さて、入学、進級から2か月がたち、子供たちはクラスの友達関係をお互いに理解し、少しずつ行動範囲を広げるようになってきました。

それに合わせて、代表委員会の子供たちが今年1年間のスローガンを考え、提案しました。

それは「友達を大切にしよう」というものです。

代表委員会とは、運動会や音楽会などの行事の計画をしたり、学校の諸問題の解決のために行動したりする組織です。その中でも「臨川小学校をもっとよくするために自分たちができること」を今年のメンバーが考え、この「友達を大切にしよう」になったのです。



全校朝会 代表委員会より

このスローガンは自主的・自発的な発想のものです。とても素晴らしいことです。このことを全校朝会でも紹介し、これから各クラスでも話し合います。

「友達を大切にするととは?」「例えばどんな行動なのだろうか?」「仲の良い子だけでよいのだろうか?」などを話し合い、自らの行動に移してほしいと願っています。

臨川小学校が、周りの支えのもと、1人1人が個性的に自分の持ち味を十分に発揮しながら、毎日を楽しく充実させることができるよう、支援していきたいと思えます。



校庭花壇のアジサイ

友達とは、困難な時に支えとなってくれます。励みや応援をしてもらい、自分は1人じゃないんだと感じます。

学習では、友達との交流を通して、多くの知識や経験を共有することができます。友達の考えを聞くことで自分の視野を広げることができます。

また、1つのことを協力しながら進め、うまくいったときの楽しさや喜びを分かち合うことができます。

それらのことを通して、心の安らぎや幸福感を味わうことができるのです。